

自分が生まれてきた意味～命の大切さ～一緒に考えてみませんか。

《平成30年度 よりん彩活動支援事業「公開講座」》

うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う家族を描いた、笑いと涙、愛の物語。

魂が号泣する 映画「うまれる」シリーズ



ナレーション：つるの剛士 (2010)



ナレーション：樹木希林 (2014)



この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーではなく、
出産を切り口にした「親子の物語」なのだと思う。
涙に、深く、深く、感謝した。
乙武洋匡 (作家)



私には経験のない事、これから経験するかもしれない事、
これから必ず経験する事の3つの話でしたが、
胸がしめつけられたり、温まったり...
「愛」といふような温度から考えさせられました。
くわばたりの (モデル)

企画・監督・撮影：豪田トモ www.umareru.jp うまれる

三カ所でもリレー上映会。岩美&八頭はママさんタイム上映。
「ママさんタイム」とは、三歳以下の小さなお子様も含め、ご家族みなさんの入場を許可した
上映会です。お子さま連れでも安心して映画を見ることが出来ます。
子育て世代、これから子育てする世代、たくさんの方に見ていただきたい。そんな映画です。

「うまれる」「ずっと、いっしょ」
鳥取上映会

1回の上映につき
入場料
300円
未就学児無料

岩美&八頭は授乳室あり。お弁当(500円程度)、パンなど軽食の販売もあります。

3日間ともに、10:00～「うまれる」(上映時間104分)、
13:30～「ずっと、いっしょ」(上映時間123分)、30分前に開場します。

- 9月14日(金) 10:00～16:00 ★ママさんタイム上映会
岩美町立渚交流館(岩美郡岩美町牧谷690番地20)定員:各50名
- 9月15日(土) 10:00～16:00 ★ママさんタイム上映会
八頭町男女共同参画センター(八頭郡八頭町徳丸578番地1)定員:各50名
- 9月16日(日) 10:00～16:00
パレットとっとり市民交流ホール(鳥取市弥生町323-1)定員:各80名
駐車場は本通りパーキングをご利用ください。託児はありません。

主催:おひさま2525八頭 MAILohisama.2525.yazu@gmail.com HP<https://umareru-tottori.jimdo.com/>
後援:八頭町、岩美町、鳥取市教育委員会、八頭町教育委員会、岩美町教育委員会、新日本海新聞社

子宮出身のすべての人へ贈る感動のドキュメント

何もない人生なんてない。誰もが向き合わなければならない課題を持って生きている。。。

僕はただ、両親と仲直りがしたくて、この映画をつくったのかもしれない。

自分は愛されているんだろうか……。

物心ついた時から、僕はそう思っていました。4歳年下の弟が体が弱く産まれてきたことから、両親は弟のことと精一杯。僕は親の愛情を知らずに育った気がしていました。そんなある日、「赤ちゃんは雲の上で親を選んで産まれてくる」という胎内記憶の話を知りました。自分は好きでうまれてきたんじゃない。親は選べない、と思ってきた僕は、非科学的な話とは思いつつ、心から感動したのです。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで僕自身、両親との関係を築き直せるかもしれない。

それから、何十組もの家族取材・撮影させていただきましたが「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘に僕は圧倒されました。うまれてくること、生きることは、まさに奇跡の連続。そして、初めて、両親に「産んでくれてありがとう」と伝えることができました。

奇跡的に生まれてきた小さいいのち。僕は良い父親になれるのだろうか？

誕生をテーマにした1作目『うまれる』(2010年)の公開と同時に娘が生まれ、小さく愛おしい命を目の前にした僕は、率直に「いい親になりたい。

家族と幸せに一生を過ごしたい。」と思いました。でも、それは自分が期待するほど簡単な作業ではないとすぐに気づかされました。

1作目の映画の製作を通じて、親との関係を改善したものの、長年、親との葛藤を抱えてきたが故の僕の「家族の肖像」が、あまり理想的なものではなかった事と関係しているのかもしれない。

それから、4年あまり、カメラを片手に様々な家族を追いかけ完成した『ずっと、いっしょ。』は、

家族とは、父親とは、幸せとは、という様々な不安、責任、そして希望を追いかけた僕自身の心の記録です。

2つの作品を通じて、「命の尊さ」「家族の絆」を全身で感じていただけると嬉しいです。



企画・監督・撮影 豪田トモ

『うまれる』(2010)



『ずっと、いっしょ。』(2014)



いのちの神秘、出産への期待と不安、誕生の喜び

両親の不仲や虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦、
出産予定日に我が子を失った夫婦、子どもを望んだものの授からない
人生を受け入れた夫婦、完治しない障害を持つ子を育てる夫婦、
命を見つける4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味、
命の大切さ、そして「生きる」ことを考えるドキュメンタリー映画。
2010年の劇場公開後、40万人以上の方にご覧いただいております。

家族の絆とは？家族と共に生きることは？

血のつながりのない息子を育てる事になった父親、
長年連れ添った妻に先立たれた男性、虎ちゃんのその後の苦境と成長、
それぞれの課題に「向き合う」3組の家族の物語。
「家族の絆」ってなんでしょ？
家族とともに生きるってどういうことなのでしょう？
さらに「家族の絆」にフォーカスした『うまれる』シリーズ第二章。



子どもたちの出産に立ち会い、
命の大切さを実感し、
育児休暇で家族の絆も深まりました。
自分自身が感じてきた経験をもちに、
ナレーションに挑戦させていただきました。
全ての方に、命の大切さを感じてほしい映画です。
ここにいる奇跡、出会えた奇跡、うまれる奇跡
すべての命のミラクルに改めて感謝。

ナレーション つるの剛士

映画を見終わり、隣にいた娘たちを抱きしめた。
素敵な映画が生まれてくれて、
ありがとう

久保純子 (フッワー+カウンセラー)



家族とは、大変な時も、喜びの時もある。
人間はそういうものですが、
問題を抱えながら生き続けていくものだと思
います。
本作にはたくさんのメッセージが詰まっています。
観る人には、それを「心で」感じて
欲しいと思います。

ナレーション 樹木希林

家族とはずっと一緒にいることは出来ない。
でも、全力で命をかけて愛することで、
ずっと一緒にいれるんだ。
鈴木おさむ (放送作家)

製作年：2010年 上映時間：1時間44分 スクリーン・サイズ：ビスタサイズ
企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山樹子 パスコーディネーター：大塚ナナコ
主題歌：『オメガトワ feat. KOHEI JAPAN』 つるの剛士 (PONY CANYON INC.)

製作年：2014年 上映時間：2時間2分 スクリーン・サイズ：ビスタサイズ
企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山樹子
主題歌：『ずっと、いっしょ』 河津清平

お申し込み方法

- ① メール (ohisama.2525.yazu@gmail.com)
- ② HP (<https://umareru-tottori.jimdo.com/>)
- ③ 実行委員に直接

右の6点をお伝えください。

チケット代は、実行委員にお支払いいただくか、
当日受付にてお支払いください。

1. お名前
2. メールアドレス
3. 参加希望日時
4. チケット枚数 (未就学児無料)
5. 会場同伴される未就学児の人数
6. その他メッセージ・質問等

お子さまと一緒に
映画見ませんか。

9/14 岩美、
9/15 八頭は
ママさんタイム
上映会です！